



## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月7日

上場会社名 株式会社リンコーコーポレーション  
 コード番号 9355 URL <http://www.rinko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 南波 秀憲  
 (氏名) 前山 英人

TEL 025-245-4112

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	4,274	7.5	245	119.9	271	117.2	200	127.4
2018年3月期第1四半期	3,977	△1.8	111	△25.6	124	△25.6	88	△33.8

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 94百万円 (△51.8%) 2018年3月期第1四半期 196百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	74.42	—
2018年3月期第1四半期	32.73	—

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	36,814	15,054	15,054	15,040	40.9	5,580.63
2018年3月期	35,664	15,040	15,040	15,040	42.2	5,575.59

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 15,054百万円 2018年3月期 15,040百万円

(注) 『『税効果会計に係る会計基準』の一部改正』(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,700	9.0	390	59.7	400	65.8	340	616.8	126.04
通期	16,700	3.4	500	9.7	480	6.6	360	△19.1	133.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正に関しましては、本日(2018年8月7日)公表いたしました「2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	2,700,000 株	2018年3月期	2,700,000 株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	2,394 株	2018年3月期	2,394 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	2,697,606 株	2018年3月期1Q	2,697,646 株

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

2018年4月1日から6月30日までの3ヶ月間(以下、当第1四半期)におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善、個人消費の持ち直しが継続し、海外経済の不確実性による景気の下振れリスクは懸念されるものの、総じて緩やかな回復基調となっております。

このような状況下、当社グループの主要な事業拠点であります新潟港におきましては、堅調な個人消費に支えられ、一般貨物、コンテナ貨物ともに前年同四半期比で増加し、ここ数年の新潟港における貨物数量の下落傾向に歯止めがかかっております。

一方、当社グループにおきましても運輸部門の貨物取扱数量はコンテナ貨物を中心に増加したことにより、同部門の業績は前年同四半期比で増収増益となりました。さらに、ホテル事業部門におきましても堅調に推移し、前年同四半期比で増収増益となりました。

これらの結果、当第1四半期の当社グループの売上高は4億2千4百万円(前年同四半期比7.5%の増収)、営業利益は2億4千5百万円(前年同四半期比119.9%の増益)、経常利益は2億7千1百万円(前年同四半期比117.2%の増益)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億円(前年同四半期比127.4%の増益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## (運輸部門)

当社運輸部門と運輸系子会社4社を合わせた同部門の当第1四半期の貨物取扱数量は、前年同四半期比6.4%増加の152万6千トンとなりました。そのうち一般貨物は前年同四半期比1.1%増加と微増、コンテナ貨物は前年同四半期比10.3%増加と大幅に増加した結果、同部門の売上高は2億9百万円(前年同四半期比6.8%の増収)となりました。また、経費面では取扱貨物量の増加に伴い下払諸経費が増加した一方、労務稼働率の向上が寄与した結果、同部門のセグメント利益は8千8百万円(前年同四半期は2百万円の損失)となりました。

## (不動産部門)

不動産賃貸契約の状況について前期より大きな変動はなく、同部門の売上高は7千8百万円(前年同四半期比0.6%の増収)、セグメント利益は4千9百万円(前年同四半期比1.0%の増益)となりました。

## (機械販売部門)

建設機械や自動車の整備につきましては、いずれも堅調に推移し前年同四半期比で増収となりましたが、建設機械の販売は前年同期比で販売件数が減少し、減収となりました。その結果、同部門の売上は2億9千1百万円(前年同四半期比8.2%の減収)、3百万円のセグメント損失(前年同四半期は1百万円の利益)となりました。

## (ホテル事業部門)

株式会社ホテル新潟は、宿泊部門が堅調に推移しているほか、婚礼を含む宴会部門も件数が増加し、レストランも好調を維持いたしました。その結果、前年同四半期比で増収増益となりました。また、株式会社ホテル大佐渡は、宿泊客数が減少したものの、建物修繕費の減少等により、前年同四半期比で減収増益となりました。

これらの結果、ホテル2社を合わせた同部門の売上高は、8億1千8百万円(前年同四半期比13.0%の増収)、セグメント利益は8千9百万円(前年同四半期比68.9%の増益)となりました。

## (商品販売部門)

貿易代行に係る売上は低調に推移しましたが、荷役関連商品等を中心とした一般商品、セメントを中心とした建設資材の販売は堅調に推移した結果、同部門の売上高は4億3千5百万円(前年同四半期比13.2%の増収)、セグメント利益は1千3百万円(前年同四半期比87.4%の増益)となりました。

## (その他)

保険代理店業、産業廃棄物の処理業を合わせたその他の売上高は、7千3百万円(前年同四半期比4.3%の減収)、セグメント利益は7百万円(前年同四半期比193.9%の増益)となりました。

## （2）財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

当第1四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末と比べて11億5千万円増加し、368億1千4百万円となりました。この主な要因は、事業用土地を取得したことによる土地の増加11億5百万円であります。

負債の部は、前連結会計年度末と比べて11億3千6百万円増加し、217億5千9百万円となりました。この主な要因は、事業用土地の取得に伴う借入金の増加により、リース債務を除く有利子負債が10億6千7百万円増加したことによるものであります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べて1千3百万円増加し、150億5千4百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加1億1千9百万円、その他有価証券評価差額金の減少1億1千4百万円、退職給付に係る調整累計額の増加8百万円であります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の連結業績は、当社グループの主力である運輸部門におきまして、貨物取扱数量がコンテナ貨物を中心に増加したことに加え、ホテル事業部門や他の部門におきましても、概ね堅調に推移したことなどにより、売上高、各利益ともに当初の想定を上回る実績となりました。

これらの業績動向を踏まえ、今後の連結業績予想を検討した結果、第2四半期累計期間におきまして売上高、各利益ともに2018年5月10日の決算短信にて発表いたしました業績予想値を上回る見込みとなったことにより、第2四半期累計期間の連結業績予想を上方修正いたしました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、前期予想値を据え置くことといたしますが、今後の事業環境の推移や業績の進捗を注視し、見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

詳細は、2018年8月7日に公表いたしました「2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

（注）上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	546,969	583,025
受取手形及び営業未収入金	3,120,381	3,458,359
たな卸資産	86,557	89,424
未収還付法人税等	27,968	31,146
その他	252,281	152,594
貸倒引当金	△5,894	△6,308
流動資産合計	4,028,263	4,308,241
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	21,817,186	21,831,989
減価償却累計額	△15,646,113	△15,732,646
建物及び構築物(純額)	6,171,072	6,099,342
機械装置及び運搬具	2,405,404	2,414,738
減価償却累計額	△2,036,568	△2,053,117
機械装置及び運搬具(純額)	368,835	361,621
土地	20,962,163	22,067,332
リース資産	679,042	679,042
減価償却累計額	△291,127	△321,060
リース資産(純額)	387,915	357,982
建設仮勘定	5,076	-
その他	1,208,479	1,209,590
減価償却累計額	△1,058,788	△1,065,108
その他(純額)	149,691	144,482
有形固定資産合計	28,044,754	29,030,761
<b>無形固定資産</b>		
リース資産	49,725	46,435
その他	46,944	64,308
無形固定資産合計	96,669	110,743
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	3,153,679	3,011,530
繰延税金資産	108,559	121,832
その他	430,194	429,612
貸倒引当金	△199,510	△199,653
投資その他の資産合計	3,492,923	3,363,321
固定資産合計	31,634,346	32,504,825
<b>繰延資産</b>		
社債発行費	1,457	1,093
繰延資産合計	1,457	1,093
資産合計	35,664,068	36,814,160

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,908,394	1,928,163
短期借入金	2,450,000	2,700,000
1年内返済予定の長期借入金	2,754,576	2,847,333
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
リース債務	138,230	136,055
未払法人税等	39,895	83,332
賞与引当金	297,129	155,314
その他	820,825	1,051,866
流動負債合計	8,509,052	9,002,066
固定負債		
社債	50,000	-
長期借入金	4,436,590	5,211,174
リース債務	310,182	277,036
繰延税金負債	1,016,732	990,501
再評価に係る繰延税金負債	4,890,141	4,890,141
退職給付に係る負債	1,053,828	1,045,956
資産除去債務	166,356	166,908
その他	190,445	176,040
固定負債合計	12,114,276	12,757,759
負債合計	20,623,328	21,759,826
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,950,000	1,950,000
資本剰余金	809,241	809,241
利益剰余金	2,237,935	2,357,771
自己株式	△7,014	△7,014
株主資本合計	4,990,161	5,109,998
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	826,159	711,737
土地再評価差額金	9,439,626	9,439,626
退職給付に係る調整累計額	△215,207	△207,027
その他の包括利益累計額合計	10,050,577	9,944,336
純資産合計	15,040,739	15,054,334
負債純資産合計	35,664,068	36,814,160

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高		
運輸作業収入	2,193,469	2,363,881
港湾営業収入	43,689	48,129
不動産売上高	72,043	72,485
機械営業収入	288,776	277,286
ホテル営業収入	721,805	815,164
商品売上高	377,349	428,228
その他の事業収入	279,930	269,121
売上高合計	3,977,064	4,274,298
売上原価		
運輸作業費	2,078,757	2,137,322
港湾営業費	36,144	30,371
不動産売上原価	25,654	24,756
機械営業費	264,880	258,989
ホテル営業費	583,700	638,086
商品売上原価	365,992	411,325
その他の事業費用	181,914	169,938
売上原価合計	3,537,044	3,670,791
売上総利益	440,020	603,507
販売費及び一般管理費	328,305	357,793
営業利益	111,715	245,713
営業外収益		
受取利息	4	0
受取配当金	33,390	40,312
貸倒引当金戻入額	372	-
雑収入	5,056	6,934
営業外収益合計	38,824	47,247
営業外費用		
支払利息	22,908	21,122
雑支出	2,736	537
営業外費用合計	25,644	21,659
経常利益	124,895	271,301
特別利益		
固定資産売却益	1,191	569
特別利益合計	1,191	569
特別損失		
固定資産処分損	23,178	4,790
特別損失合計	23,178	4,790
税金等調整前四半期純利益	102,908	267,080
法人税、住民税及び事業税	48,371	81,028
法人税等調整額	△33,760	△14,712
法人税等合計	14,611	66,316
四半期純利益	88,296	200,764
親会社株主に帰属する四半期純利益	88,296	200,764

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	88,296	200,764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	105,696	△114,421
退職給付に係る調整額	2,178	8,180
その他の包括利益合計	107,875	△106,241
四半期包括利益	196,172	94,523
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	196,172	94,523

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売部門	ホテル事業部門	商品販売部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,440,591	72,043	288,776	721,805	377,349	3,900,566	76,498	3,977,064
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,821	6,166	28,719	2,201	7,538	46,446	726	47,173
計	2,442,413	78,209	317,495	724,006	384,888	3,947,013	77,224	4,024,237
セグメント利益又は損失(△)	△2,847	48,567	1,766	53,236	6,964	107,686	2,630	110,317

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、OA機器の販売、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	107,686
「その他」の区分の利益	2,630
セグメント間取引消去	1,307
その他の調整額	89
四半期連結損益計算書の営業利益	111,715

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売部門	ホテル事業部門	商品販売部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,607,199	72,485	277,286	815,164	428,228	4,200,364	73,933	4,274,298
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,128	6,166	14,184	3,051	7,582	33,113	—	33,113
計	2,609,327	78,652	291,471	818,215	435,811	4,233,478	73,933	4,307,411
セグメント利益又は損失(△)	88,296	49,054	△3,102	89,891	13,048	237,187	7,730	244,918

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	237,187
「その他」の区分の利益	7,730
セグメント間取引消去	292
その他の調整額	502
四半期連結損益計算書の営業利益	245,713

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。